



平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 あいホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐々木 秀吉
 (氏名) 唐崎 英明

TEL 03-3249-6335

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	8,481	16.3	1,166	32.1	1,203	19.4	765	30.0
24年6月期第1四半期	7,291	7.5	883	23.0	1,007	20.9	589	14.3

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 724百万円 (66.5%) 24年6月期第1四半期 435百万円 (△11.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	16.16	—
24年6月期第1四半期	10.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第1四半期	30,094	21,109	70.1	445.68
24年6月期	29,772	20,763	69.7	438.38

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 21,109百万円 24年6月期 20,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	7.4	1,900	11.7	1,950	△1.2	1,050	△7.4	22.17
通期	31,000	10.1	4,200	18.6	4,250	7.1	2,500	3.9	52.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期1Q	56,590,410 株	24年6月期	56,590,410 株
② 期末自己株式数	25年6月期1Q	9,225,149 株	24年6月期	9,224,970 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期1Q	47,365,365 株	24年6月期1Q	54,719,056 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する円高や株式市場の低迷に加えて、欧州債務問題による世界的な金融不安や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化等により、先行きの不透明感が強まる状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループの経営環境も厳しい状況が続いておりますが、環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は84億8千1百万円（前年同四半期比16.3%増）となり、営業利益は11億6千6百万円（前年同四半期比32.1%増）、経常利益は12億3百万円（前年同四半期比19.4%増）、四半期純利益は7億6千5百万円（前年同四半期比30.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けセキュリティシステムの販売が好調に推移したこと等により、売上高は18億8千1百万円（前年同四半期比38.8%増）、セグメント利益は5億8千1百万円（前年同四半期比128.4%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、売上高は6億4千万円（前年同四半期比21.2%減）、セグメント利益は1億3千2百万円（前年同四半期比26.4%減）となりました。主な要因は、前年同四半期において金融機関向け大型案件の販売があったこと等によるものであります。

③ 保守サービス

保守サービスにつきましては、企業の経費削減に伴い点検修理が減少したこと等により、売上高は4億5千2百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益は5千5百万円（前年同四半期比19.0%減）となりました。

④ 情報機器

情報機器につきましては、海外子会社であるSilhouette America, Inc. にて発売した、コンシューマ向け小型型カッティングマシンの販売が好調に推移したこと等により、売上高は17億8千4百万円（前年同四半期比18.9%増）、セグメント利益は1億6千万円（前年同四半期比35.9%増）となりました。

⑤ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、計測機器の販売は堅調に推移したものの、環境試験装置の販売が企業の設備投資抑制の影響を受けたこと等により、売上高は4億8千6百万円（前年同四半期比10.6%減）、セグメント利益は5千2百万円（前年同四半期比14.6%減）となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、耐震診断等の受注増加により、売上高は10億4千1百万円（前年同四半期比11.3%増）、セグメント利益は1億2千8百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

⑦ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は20億5千4百万円（前年同四半期比32.6%増）、セグメント利益は3千2百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

⑧ その他

その他につきましては、売上高は1億3千9百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益は0百万円の損失（前年同四半期は3百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して3億2千2百万円増加し、300億9千4百万円となりました。主な要因は、流動資産の現金及び預金2億5千9百万円減少、受取手形及び売掛金1億4百万円増加、有価証券2億2千9百万円減少、商品及び製品3億7千4百万円増加、その他4億8百万円増加、投資その他の資産の投資有価証券1億1千8百万円減少等であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して2千3百万円減少し、89億8千4百万円となりました。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金5億2千1百万円増加、未払法人税等5億5千7百万円減少等であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して3億4千5百万円増加し、211億9百万円となりました。主な要因は、四半期純利益7億6千5百万円の計上、配当金3億7千8百万円の支払、その他有価証券評価差額金3千万円減少等であります。この結果、自己資本比率は70.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年8月17日付の「平成24年6月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,012	8,753
受取手形及び売掛金	5,201	5,305
リース投資資産	584	640
有価証券	988	759
商品及び製品	2,614	2,989
仕掛品	75	70
未成工事支出金	251	215
原材料及び貯蔵品	471	457
その他	1,433	1,842
貸倒引当金	△40	△41
流動資産合計	20,594	20,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,514	1,494
土地	4,287	4,287
その他(純額)	430	501
有形固定資産合計	6,232	6,283
無形固定資産		
のれん	735	693
その他	131	124
無形固定資産合計	866	817
投資その他の資産		
投資有価証券	1,334	1,216
その他	896	939
貸倒引当金	△152	△155
投資その他の資産合計	2,079	2,000
固定資産合計	9,177	9,100
資産合計	29,772	30,094

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,849	3,371
未払法人税等	844	287
賞与引当金	104	295
製品保証引当金	15	15
受注損失引当金	26	21
その他	2,763	2,509
流動負債合計	6,604	6,500
固定負債		
退職給付引当金	845	862
資産除去債務	7	7
その他	1,549	1,614
固定負債合計	2,403	2,484
負債合計	9,008	8,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,049	9,049
利益剰余金	12,143	12,530
自己株式	△4,688	△4,688
株主資本合計	21,504	21,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△236	△267
繰延ヘッジ損益	△0	5
為替換算調整勘定	△503	△519
その他の包括利益累計額合計	△740	△781
純資産合計	20,763	21,109
負債純資産合計	29,772	30,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	7,291	8,481
売上原価	4,691	5,449
売上総利益	2,600	3,031
販売費及び一般管理費		
役員報酬	50	60
給料及び手当	578	607
賞与引当金繰入額	124	145
退職給付費用	49	48
その他	912	1,001
販売費及び一般管理費合計	1,716	1,865
営業利益	883	1,166
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	—	0
持分法による投資利益	—	11
受取賃貸料	9	13
その他	127	18
営業外収益合計	140	45
営業外費用		
支払利息	1	0
雑損失	1	7
その他	13	1
営業外費用合計	15	9
経常利益	1,007	1,203
特別利益		
投資有価証券売却益	0	11
その他	0	—
特別利益合計	0	11
特別損失		
固定資産除却損	5	0
投資有価証券評価損	93	3
その他	0	0
特別損失合計	98	3
税金等調整前四半期純利益	909	1,210
法人税、住民税及び事業税	357	475
法人税等調整額	△37	△29
法人税等合計	319	445
少数株主損益調整前四半期純利益	589	765
少数株主利益	—	—
四半期純利益	589	765

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	589	765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△135	△30
繰延ヘッジ損益	7	6
為替換算調整勘定	△25	△16
その他の包括利益合計	△153	△40
四半期包括利益	435	724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435	724
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	1,355	812	454	1,501	543	936	1,549	7,152	139	—	7,291
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	—	15	8	—	—	6	30	0	△31	—
計	1,355	812	469	1,510	543	936	1,555	7,183	139	△31	7,291
セグメント 利益	254	179	68	117	61	133	39	855	3	24	883

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額24百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益8百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	1,881	640	452	1,784	486	1,041	2,054	8,342	139	—	8,481
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	0	13	4	2	—	7	28	0	△28	—
計	1,881	641	466	1,789	488	1,041	2,061	8,371	139	△24	8,481
セグメント 利益又は損失 (△)	581	132	55	160	52	128	32	1,143	△0	23	1,166

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額23百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益7百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。